

いのちの大切さを考える本



「大切にしよう 自分のからだ」



風邪などの予防や健康なからだ作りに参考になる本、
病気がテーマの絵本や物語の本を親子で読んでみませんか？
市内5つの図書館で借りられます。

東村山市立図書館

てをあらおう いしかわまさゆき／作・絵 講談社

食中毒、風邪、インフルエンザなどの予防のために、手洗いが大切だということが幼児にもわかるように書かれている絵本。指と指の間もよく洗うなど実際の手の洗い方もわかります。(絵本・知識 幼児～)

ぼく びょうきじゃないよ 角野栄子／さく 垂石眞子／え 福音館書店

風邪をひいたら、つりに行けなくなってしまう…。でも、お母さんはケンがごほんとせきをしたのを見逃しませんでした。病気じゃないのにといいながら寝ていると、大きなくまのお医者さんがやってきました。物語の中にうがいの仕方など病気のことがうまく織り込まれています。(絵本・物語 幼児～)

きょうりゅうたちがかぜひいた

ジェイン・ヨーレン／文 マーク・ティグ／絵 なかがわちひろ／訳 小峰書店

恐竜たちが風邪ひいたらどうなる？鼻をかんだティッシュは、てんこ盛り。お医者さんに連れて行っても、診察室から逃げ出してしまう？いえいえ、この絵本の中の恐竜たちはちゃんと言うことをきくよい子たちなのです。(絵本・物語 幼児～)

あたしもびょうきに なりたいな！

フランツ＝プランデンベルク／さく アリキ＝プランデンベルク／え ふくもとゆみこ／やく 偕成社

きょうだいのエドワードが病気になりました。お母さんも、お父さんも、おばあちゃんまで、心配していろいろと世話をやいているのを見て、わたしも病気になりたいと思いますが…。(絵本・物語 幼児～)

すっすっはっはっ こ・きゅう 長野麻子／作 長野ヒデ子／絵 童心社

空気をゆっくり吸い込んで吐き出すと、気持ちがよくて元気がわいてくる。「くうきをすって すう～」 「はいて はあ～」この絵本のとおり、みんなで「すー はー」して、声を出してみると、楽しいですよ。(絵本・知識 幼児～)

あさごはんから はじめよう すずきさちこ／著 講談社

朝ごはんを食べずに学校へ行ったあさこちゃん。でも、頭は働かないし、体もうまく動きません。すると、「げんきのおまじないは、はやね はやおき あさごはん」という声が聞こえてきました…。朝ごはんの大切さをやさしく解説してくれます。(知識 小学校3・4年～)

病気の魔女と薬の魔女 岡田晴恵／著 学研

新米魔女のローラは、薬局で働きながら、薬草の魔女や青カビから薬を作る魔女のもとで修行をしています。今年初めて世界中の魔女が集まるワルプルギスの祭りに連れて行ってもらえることになりました。でもそこには、恐ろしい病気を流行らせる病気の魔女たちも集まっていたのです。作者はウィルスの研究者で、新型インフルエンザに関する正しい知識を広めるためにこの物語を書きました。

(物語 小学校5・6年～)

(裏面もあります)

【平成22年度 東村山市「いのちの教育」推進プラン関連事業 平成23年1月発行】